女性会だより

白山商工会議所女性会　第七十一号

奥能登芸術祭の珠洲会員大会と

本格フレンチで能登を味わう旅

平成二十九年九月二十九日（金）午前六時五十分、当女性会会員二十名を乗せたバスは曇り空の中、白山商工会議所を後にしました。

午前十一時より多目的ホール「ラポルトすず」にて、平成二十九年度石川県商工会議所女性会連合会会員大会が開催されました。

私たちは、少し早めに「ラポルトすず」に到着しました。そこで、会場すぐ近くにある芸術作品「さいはてのキャバレー準備中」を見学しました。飯田港に面したカフェの跡地を利用したアーティストＥＡＴ＆ＡＲＴＴＡＲＯさんの作品です。今夜にも色取り取りの衣装を纏ったダンサーや歌手のステージが楽しめそうな不思議な空間がそこにはありました。

「ラポルトすず」の入口を入るとすぐに目に飛び込んできたのが、「潮流・ガチャポン交換器」です。これは三人組の芸術家集団「力五山」の作品で、訪れた人が百円硬貨と引き換えにカプセルに詰まった「思い出の品」を持ち帰ることができる仕組みになっています。

「思い出の品」のカプセルには、珠洲焼のかけらや貝殻、キーホルダーやストラップなどの手芸品が用意されたそうです。市民が一丸となって芸術祭に協力しているとの事、ちょっと羨ましい気持ちになりました。

午前十一時三十分、石川県商工会議所女性会連合会会員大会も無事に終了しました。そこからバスで移動し、珠洲市がタニタと協力している「ゲンキ食堂」で珠洲まつり御膳「ヨバレ」を味わいました。

蛸島正院エリアから、芸術祭の作品を巡ります。ここに展示されていたのは、旧漁業倉庫の中に大きな白布がスクリーンのように吊り下げられ、漁業網や蛸つぼなどの影がスクリーンに写される、光と影の芸術「Passing」と題された台湾の二人の芸術家の合作です。

能登鉄道、旧能登線の終着駅だった旧蛸島駅周辺では、ドイツのトビアス・レーベルガー氏の屋外作品「Something Else Is Possible／なにか他にできる」が展示されています。過去と未来が交差するイメージの造形作品の先には何か明るい光の看板が見えます。過去には赤錆びた電車がススキに囲まれて、そこだけ時間が止まったままです。しかし、その電車にはかつての栄光もちゃんと持っています。そんな世界は淋しい限りなのですが、なぜか未来も捨てたもんじゃない希望の光も一筋見えます。錆びた線路をみんなで歩きながら、不思議な元気をもらい旧蛸島駅を後にしました。

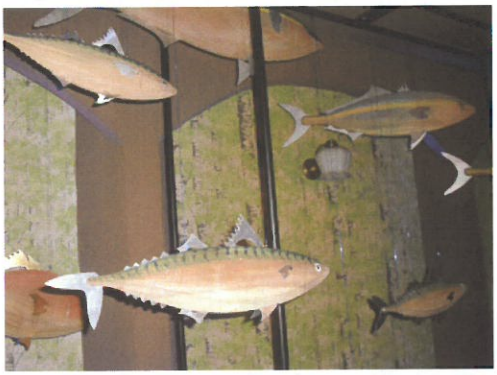
企業視察として「道の駅　すずなり」を見学しました。市内の小学生が手書きでつくった観光パンフレットが好評を得たそうです。

飯田エリアでは、旧映画館「スメル館」を舞台にした南条嘉毅氏の作品「シアターシュメール」が上演されていました。暗闇の中、二階の桟敷から、一階を眺め下ろすと珠洲の街角を彩った理髪店や美容院の看板やネオン、映写機や電気スタンドへ次々とスポットが当たり、どれも年季の入ったものばかりです。時々、砂時計のように珪藻土が土ぼこりを上げて舞い落ちてきます。

ＢＧＭにはドビュッシー「夢想」、ランゲ「ホーム・スウィート・ホーム幻想曲」の優しい調べや、レコードの針の音、東京オリンピック開幕を伝えるラジオの音が交錯します。まさに昭和の空気です。新聞の記事に書かれていた『失われた時間を感じることができる昭和への時間旅行』という文面がぴったりと当てはまる八分間でした。私も家に帰ってからじんわりと懐かしさで心が揺さぶられました。

金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム「スズプロ」のメンバーによる作品「静かな海流をめぐって」は、明治期に建てられた旧八木邸をキャンバスに地元民からの聞き取った話を元に描いた「奥能登曼荼羅」を壁一面に張り付けたり、床板をくり抜き、家に残されていた瓦を並べたり、床板に彫刻を施したり、家そのものが作品となっていました。

吉野央子氏の「ＪＵＥＮ光陰」には、驚かされました。十年程前に閉店したスナック店舗を生かし、奥まった和室六室に人生という「迷路」を示した作品です。エンジ色のソファと白いテーブル、カウンター席、棚には酒瓶がずらりと並ぶ昭和のスナックです。　でも、大きな違いはお客さんが、魚だということです。



木彫の魚たちが店中にいます。まるで泳ぎまわっているようです。かつてこの店で華やいだ時間を過ごしていた漁師やホステスたちも、この魚たちのように店中をまわっていたかのようです。

奥の個室の和室には、大きなカニが居座ったり、海ヘビが床の間にうろちょろしたり、障子戸のところをイカが飛びまわったり、海の生き物のパラダイスのような空間です。そして静かに聞こえてくるのは、唱歌「海」です。ここは海中だから、あなたたち人間は遠慮しながら覗いてねと言っているようです。

珠洲市は能登半島の先端です。都会から遠くて訪れる人も少なく、ふるさとを出て行く人ばかり、人口も減り、過疎の地です。だから『さいはて』だそうです。でも、本当に『さいはて』かな？と思いつつ、映画「さいはてにて」のことを思い出した。

「奥能登国際芸術祭」と呼ぶより「さいはての芸術祭」と呼ばれると不思議と行きたくなります。珠洲には廃屋や廃線があります。「さいはて」らしさは感じられます。貝殻や塩で埋められたアートがあります。私たちは確かに「さいはて」だと感動しながら帰路に着きました。もっとたくさんのアートを見たいという思いにかられる楽しい芸術祭でした。

能登ワイナリーでは、ぶどう

畑を眺めたり、輪島のフレンチ店「ラトリエドゥノト」では、能登の豊かな食材を使った本格フレンチを堪能しました。

能登の豊かさは自然と食材。石川県はいい所だと新たに自慢したい気持ちにかられました。

（文・佃久美子）

第四十九回北海道全国大会
北の大地に女性リーダー集う

十月七日（土）、第四十九回全国商工会議所女性会連合会北海道全国大会が、札幌市で開催され、全国三百十八女性会から約二千七百名（当女性会より六名）が参加しました。

主催者挨拶で藤沢薫全商女性連会長は、「今こそ各地域の女性活躍をけん引するとともに、一人一人が輝く女性経営者団体として、さらなる活動を展開していきましょう」と呼びかけました。

続いて挨拶をした三村明夫日本商工会議所会頭は、「日本経済の再生と地方創生の実現には、女性の柔軟かつ大胆な発想と実行力が重要な鍵となる。ぜひとも各地女性会において、それぞれの地域の活動をけん引してほしい」と期待を寄せられました。

次に、総会では、第十六回女性企業家大賞および全商女性連表彰の授賞式が行われました。そして来年の全国大会開催地である岩手県のメンバーが「岩手総会」へ参加を呼びかけて大会が締めくくられました。

大会終了後の記念講演会では、（株）ニトリホールディングス代表取締役会長の似鳥昭雄氏を講師に『「お、ねだん以上。」～ニトリの成長秘話～』と題した講演がありました。

県連女性会視察研修会
マニュアルのないおもてなし

十月六日（金）、北海道全国大会前日、当女性会は県連女性会とともに、六花亭札幌本店で、視察研修会を行いました。

六花亭（株）代表取締役社長の和田滋氏から会社の紹介を頂きました。「六花亭には、マニュアルがない。損得ではなく善悪で判断して行動している。」との説明に、従業員、一人一人の個性を大切にしている姿が、企業の強さにつながっているということを教えていただきました。

かぶら寿し漬け込み体験

平成二十九年十一月十四日（火）午後一時より、「四十萬谷本舗　弥生本店」に於いて、石川県伝統発酵食「かぶら寿し」の漬け込み体験が行われ、当女性会会員十九名が参加しました。

四十萬谷本舗　弥生本店の建物は、伝統的町屋の姿をとどめています。明治初期に建てられたもので、この辺り一帯は重要伝統的建造物保存地区に指定されています。

「かぶら寿し」と言えば、私たちにとってはあたり前のように漬け物です。塩漬けしたかぶに塩漬けした鰤を挟み、糀で漬け込み発酵させたもの「馴れずし」（魚を塩と米飯で乳酸発酵させたもの）です。観光客の方から「ごはんが付いていない、どうして？」と問い合わせがあ

るそうです。なる程ですね？

「かぶら寿し」に使用する「百万石青首かぶら」も自社ファームで栽培しています。「石川金沢が誇る伝統食文化を伝えたい」という思いから「かぶら寿し道場」「かぶら寿し体験教室」「糠床を使った野菜の糀漬け教室」などを開催しています。県立大や県工業試験場の協力のもと発酵メカニズム解明を行っています。糀がアミラーゼやプロテアーゼという酵素をもっています。それがうま味を作ってくれること、乳酸菌にも種類があり、それぞれの菌が作り出す味が異なることなど、科学的にも明らかになってきました。

社長と専務、ご夫婦で息の合った説明

発酵食の講習を受け、いよいよ漬け込み体験に移ります。〈ぶりの塩漬け〉、〈かぶらの塩漬け〉、〈糀の仕込み〉などの下ごしらえのされた材料が揃い、私たちが体験したのは、本漬けからです。

本漬けでは、挟み込むぶりが、かぶらからはみ出さないように、糀を塗って桶にかぶらを並べる際には、切り口を下に向け、後から出る水分が落ちるように等の説明を受けながら、桶に並べていきました。

家に帰ってからの管理の仕方、食べ頃の目安をきき、本漬けが終了した後、皆さんで家へ持ち帰り重石をしました。

白山市も発酵食品作りがさかんに行われています。上手に発酵食品を取り入れ、豊かな食生活を楽しみたいものです。

新入会員のご紹介

新しく２名の方が加入されました。

鈴木芳乃さん（Cafe & Bar 華椿）飲食業　末広１丁目

徳田厚子さん（(有)徳田商会）燃料小売業　倉光１丁目

新入会員随時募集中です。一緒に活動致しませんか。

エコキャップ報告

第 11 回引渡し結果（平成 29 年 10 月 17 日）

収集キャップ個数　37,625 個

収集キャップ重量　87.5kg

ポリオワクチン相当数　43.75 人分

収集期間　平成 29 年４月～９月

収集にご協力ありがとうございます。

新年会のご案内

新年のひとときをご一緒に

日時　平成 30 年２月２日（金）
午後６時 開始

場所　グランドホテル白山

皆さまのご参加お待ちしております。
詳細は同封のチラシにてご確認下さい。

白山商工会議所女性会
TEL　二七六―三八一一
FAX　二七六―三八一二